

ぐんまこどもの国児童会館

ニコット通信

nicotto tsu-sin!



ニコットちゃん

2022.1.15
第76号

発行/公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



児童健全育成講演会

コロナ禍による社会環境の変化と育成支援の課題
～コロナ禍のこどもの育ちを支えるために～

「コロナ禍」の影響で、ダメージを受けている子ども達は、何が失われ、どのような支援が必要とされているのか。基調講演と、参加者の皆さんから事前に頂いたテーマを元に、講師の専門性を生かしたパネルディスカッションの2部構成で行います。目の前の子ども達への支援に、気づきの一環となっていたら幸いです。

開催日 2月27日(日)

時間 13:30~14:30

基調講演 大竹 智 氏 (立正大学教授)

14:45~16:00

パネルディスカッション

柳澤 邦夫 氏 (西真岡こどもクリニック顧問)

大竹 智 氏 他

会場 多目的ホール

対象 一般

定員 100名(先着順)

受付方法 事前申込。1月28日(金)9:00から
専用フォームで



申込専用フォーム

特別企画

プラネタリウム

星空と音楽

～クラリネット・チェロ・ピアノによるコンサート～

開催日 2月20日(日)

時間 10:00~11:00
14:10~15:10

会場 スペースシアター

対象 一般(未就学児は保護者同伴)

定員 各回100名(先着順)

演奏 田島 しょうこ(クラリネット)

関根 順子(チェロ)

峯岸 梓(ピアノ)

受付方法 事前申込。1月4日(火)9:00から
来館または電話で



こども観劇会
人形劇団ゴニク公演

「てぶくろを買いに」

はじめて雪で遊んだきつねの坊やは小さな手がこえてしまいます。かあさんぎつねに言われ、ふもとの町までてぶくろを買いに出かけたこぎつねは……。1929年の創立以来、多くの子ども達に愛され続けている人形劇団ゴニクによる、新見南吉の名作「てぶくろを買いに」を上演します。

開催日 3月20日(日)

時間 14:30~15:10

(受付は30分前~)

会場 多目的ホール

対象 一般(未就学児は保護者同伴)

定員 100名(先着順)

受付方法 事前申込

2月8日(火)9:00から

専用フォームで



申込専用フォーム



休	1月...11日(火)・12日(水)・17日(月)・24日(月)・31日(月)
館	2月...7日(月)・14日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)
日	3月...7日(月)・14日(月)・22日(火)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL:0276(25)0055 FAX:0276(25)0059
HP: https://www.kodomonokunijidoukaikan.jimdo.com/
Twitter: @nicottochan5

※次号は、令和4年4月15日(金)発行予定

★新型コロナウイルス感染防止のため、開館時間の変更や、入場制限また、記載情報についても変更になる場合がございます。最新の情報や詳細は、当館ホームページをご確認いただくか、事前にお問い合わせください。

あそぼうタイム「新聞紙であそぼう」の報告

こちらの企画は当館で研究を行っている「遊びのプログラム*開発と普及プロジェクト」の一環として、利用者から体験モニターを募り11月20日(土)に開催しました。

*「遊びのプログラム」とは当館で行っている子どもの成長や発達にとって重要な役割につながる全ての活動をさします。

午前のプログラムでは親子8組に協力してもらい、「親子でちぎってまるめてポイッ！」と題し、新聞紙の素材としての魅力を活かした複数の活動を、みんなで一緒に遊びながら体験してもらいました。

一番人気だった活動は「かみあらし」。小さくちぎった新聞紙を、嵐の名曲にあわせて、参加者全員でうちわであおぐと・・・新聞紙の嵐が発生！

まさに、「まきおこせ あ・ら・し♪」で大盛り上がりでした。



活動「しまかいはつ」の様子



会場の一角には幼児向けコーナーも設置



活動「かみあらし」の様子

午後のプログラムでは小学生11人に協力してもらい、「新聞紙 DE 運動会！」と題し、チーム対抗による玉入れ・障害物競走・リレー等、一連のプログラムを体験してもらいました。年齢に応じて設定したテーマを誌面から見つける「テーマ探し」では、新聞紙ならではの“いつもの朝の光景”が見られ、大変微笑ましかったです。

最後の活動「新聞リレー」では、チームメンバーを積極的に応援する姿が沢山見られました＼(^o^)/



チームで作戦を話し合う様子



活動「テーマ探し」の様子



アンケートに回答する子どもたち

～参加者アンケートから～

1日を通じて貴重な意見や感想を沢山きかせていただきました

コロナ等で外出が難しい時や寒い日でも自宅で遊べると思う
(大人)

もっと親子で工夫する時間があったらよかったと思う
(大人)

幼児でも参加でき、程よい難しさもあるのがとてもよい
(大人)

テーマ探しをしてみて、新聞のことがわかった(子ども)

小さい子には玉入れカゴの高さが高かったと思います
(子ども)

新聞リレーはみんなで協力できて楽しかった(子ども)

さいごに

本企画を通して、職員も身近な素材である新聞紙の可能性について、様々な発見を得ることができました。また、今回みなさんからいただいた意見や感想を活動に反映し、より良いプログラムへ繋げていきたいと考えています。そして、当館のみならず他の児童館や子ども・子育てに係わる施設等、もっと多くの子どもたちを楽しんでもらえるよう、その普及に力を注ぐことが私たちの使命だと感じているところです。

今後も「新聞紙であそぼう」を職員はもとより、みなさんと一緒に満足度の高い企画に育てていきたいと思っています。

なお、当館公式 YouTube チャンネル「にこっとチャンネル」の新聞紙であそぼう(1,2)でも様々な遊びを公開しています。是非ご覧ください。

あそぼうタイム「新聞紙であそぼう」の遊びレシピ

「あそぼうタイム『新聞紙であそぼう』」で遊んだ新聞紙あそびの内容を紹介します。

作り方

まるめてカップへпой

材料

- ・新聞紙
- ・テープ



①新聞紙を1/4に折る



②折った新聞紙を筒状に丸める



③テープでとめる



④下半分を細く絞って、持ち手を作る



カップの中に手を入れて、形を整えよう。

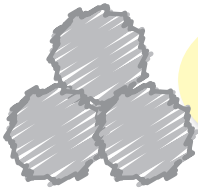


⑤持ち手をテープでとめる



⑥完成

ボール



半分のサイズの場合は、そのままOK



①新聞紙を半分に切る



②グシャグシャに丸める



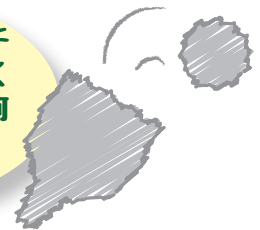
③完成

遊び方

ボールを投げて、カップでキャッチしよう。

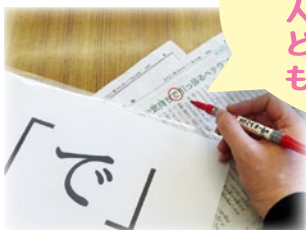


カップを2つ作って、キャッチボールをしたり、ボールをたくさん作ったりして、カップに何個入るか挑戦してみよう。



テーマ探し

決められたテーマを新聞紙の中から探し、ペンでマークをつけよう。



テーマは年齢によって難易度を変えたり、人物や動物、記号などを指定したりしても楽しめるよ。

ポイント

- ・新聞を読む習慣が無い子どもにとっては、新聞を見る機会になる！
- ・テーマの選定によって、言語が異なる多国籍の子ども達のグループでも楽しめる！
- ・難易度を変える事で幅広い年齢層に対応できる！

ぐんまこどもの夢大賞

第30回

入選作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で行っています。

記念すべき30回目にあたる今年度は、絵画部門で7,687点、童話部門は369点と特に多くの応募をいただきました。どれも子どもたちの豊かな感性と、力強い思いが伝わってくる素晴らしい作品でした。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞14点、銀賞23点、銅賞38点、奨励賞78点が、童話は最優秀賞1点、金賞3点、銀賞5点、銅賞6点、奨励賞3点が入賞。また、30回目を記念した第30回記念賞には、絵画9点、童話3点が選出されました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



インタビュー内容

- ① 受賞を知ったときの気持ち
- ② 制作時間
- ③ どうしてこの作品をかこうと思ったか
- ④ 次は何をかきたい?
- ⑤ 将来の夢
- ⑥ 保護者のことば

絵画

最優秀賞



高崎市立金古小学校 (1年)

はぎわら りょう
萩原 遼 さん

「恐竜に乗ってどこまでも」



- ① とても嬉しかった。
- ② 2日間
- ③ 恐竜が好きで、恐竜に乗って白亜紀に行ってみたかったから。
- ④ 小さくなって昆虫の世界に入りこんだ絵を描いてみたい。

- ⑤ 医者
- ⑥ 心に思い描いた夢を、絵として表現できる機会があり、感謝しています。

最優秀賞



伊勢崎市立南小学校(6年)

いちかわ さき
市川 紗妃 さん

「私の夢の一つの看護師」



- ①初めて賞を取れたので、とても嬉しかったです。
- ②応募開始からほぼ毎日少しずつ取り組んでいました。
- ③母が看護師なので、少し憧れて夢として描きました。
- ④いじめや交通安全など、呼びかけるようなポスターを描きたいです。世の中には色々なことがあり、ニュースなどをみて、自分からも何か呼びかけたいと思いました。
- ⑤看護師や漫画家です。日頃から母の姿を見てきて、

憧れていました。また、絵を描くことやお話を考えることも好きです。

- ⑥将来の夢に向けて家族で精一杯応援します。やりたいことをやってほしいし、何より1番は健康でいてほしいです。私はたまに相談に乗りましたが、その他色やデザインなど自分で考えて取り組んでいました。人生の中で良い記念、思い出になったと思います。

最優秀賞



太田市立太田中学校
(3年)

あかいし あさみ
赤石 有咲実 さん

「数学の世界」



- ①細かなところまで工夫して描いた作品が入賞してとてもうれしかったです。今まで絵を描いてきたことはもちろん、将来の夢に向かって努力したことも実った感じがして達成感がありました。
- ②2日くらいです。数字を使わずに数学を表現するため、時間はかかりましたが幾何学模様になりました。
- ③音楽の先生との出会いがきっかけとなり、数字と絵を組み合わせようと思いました。数学の楽しさや美しさを伝えられる人になりたいと思います。
- ④数学の教師になった自分自身を描いてみたいです。人の心を動かせるような絵を描きたいと思っています。
- ⑤中学校の数学教師です。憧れの先生に近づけるように日々頑張っています。夢を与えられる人、数学の美しさを伝えられる人になりたいと思っています。
- ⑥今回時間をかけて大切に描いた作品が入賞した事でとても嬉しく思っています。いつまでも夢を持った大人でいてほしいと思います。

最優秀賞

伊勢崎市立殖蓮第二小学校(6年) たなか ゆな 田中 柚菜さん



- ①初めて物語を書いたので、まさか最優秀賞が取れると思っていなくて、とてもびっくりしたし、すごくうれしかった。
- ②話を考えるのに1日と、まとめて書くのに3日くらいかかった。
- ③小さい頃から今でも、寝る前に本を読んでもらったり、自分で読んだりしていた。本を読むことが好きなので、自分でも書いてみたかった。
- ④楽しくて、ワクワクするような、ファンタジー要素も取り入れたような物語を書いてみたい。
- ⑤人の役に立てるような、医療関係の仕事につきたい。
- ⑥元々、暇さえあれば本を読んだり、絵を描いたりしていたので、好きなことで賞をとることができて本人も、保護者としても、とても嬉しかった。頑張りが認められて良かった。

「おもいで駅」

これは私が高校三年生の夏の出来事だ。私の名前は風香^{ふうか}、今は自然写真家として山々を飛び回っている。

「お忘れ物ですよ。」

駅員さんに呼びとめられ、私はふり返る。

「またか…。」

私はベッドの上でため息まじりにつぶやいた。最近毎日同じ夢を見ている。そして毎回ここで目が覚めるのだ。

「忘れ物？」

いったいなにを忘れたんだろう？気になるのに続きは見られない。

「あの駅どこだろう？見覚えがないんだよなー。」

私は記憶を探ってみたけど、思い当たる駅はない。それにこの夢には小学生くらいの男の子が出てくるんだけど、これがまた顔がわからない。顔のあたりにポヤ〜っとモヤがかかったようにハッキリしないのだ。夢の中の事とはいえ、毎日見るのだからその男の子も駅も気になって仕方がない。ただなんとなく私が小さいころ毎年夏休みに遊びに行っていた、田舎に似ている気がするのだ。そこには母の祖父母が住んでいる。私はそこで過ごすのが大好きだった。家の周りにはコンビニなんてないけれど、緑がいっぱいで自然豊かな本当に気持ちのいい場所。まどを開けて、風を感じながら宿題をかたづけするのも、川で水遊びするのも、虫の声を聞きながら、ねむりにつくのも、蚊にさされるのはいやだったけど、とにかくすべてが私のお気に入り。中でも家のわき道を少し行くと山がある。山と言ってもそれほど大きな山ではない。ちろちろとわき水が作る小さな川とその先には、小高い丘もある。小さな山にたくさんの自然がつめこまれているこの場所が、一番好きなの。一日中歩き回ってもあきないんだもん。

「なつかしいなあ…。」

そんな事を考えながら、いつも通り学校へと向かう。最後に行ったのは、小六の夏休みだけ？中学になると部活が始まり、行く時間もなくなってしまい、そのうち田舎で

過ごした事もだんだんと忘れてしまったのだ。私はふと、今年は久びさに行ってみよう！そう思った。なんだか行かなくてはいけない気がしたのだ。学校もあと一週間で夏休み。そうと決めれば、急いで家に帰り祖父母に連絡を入れた。祖母は快くOKしてくれた。私は今から楽しみで仕方ない。鼻歌まじりに宿題をはじめめる。やる気が出るってもんだ。

そしてついに待ちに待った日がやってきた。私は電車で向かうことに決めていた。電車に乗れば何かヒントがみつかると思い大きなバッグを持って家を出た。私は胸をはずませ、少し小走りで駅へ急いだ。電車にゆられ夢のはじまりから思い返してみた。

「はじまりはやっぱりあの山かも…。」

あの緑がいっぱいの感じ、あの空の青…。

「とにかくあの山に行ってみよう。」

ワクワクしながら到着を待った。

駅に着くと祖父がむかえに来てくれていた。

「よく来たねえ。風香。大きくなったのお。何年ぶりのお？」

「小六の時以来だから、六年ぶりだよ。おじいちゃん急に来てごめんね。」

私は申しわけないと頭をさげた。

「いやー会えてうれしいよ。ばあちゃんも楽しみにまっとるよ。」

おじいちゃんは顔にシワをいっぱいよせて笑った。この笑顔が大好きで私もくしゃりと笑った。家ではおばあちゃんが、たくさんのごちそうを用意して待っていてくれた。私はおいしそうな料理にグ〜とおなかを鳴らした。

「あらあら、お昼にしようかね。」

おばあちゃんが笑って言った。

「よし！出かけよう。」

私はお昼をたらふく食べて、おなかをさすりながら家を出て山へと向かった。

「本当に久しぶり。全然変わってないや。」

山の入口まで来て、私の心臓がドキリと鳴った。

「やっぱりこの山だ。」

そのしゅん間、あの夢の中にスーッと入った感覚におちいった。ここは夢が現実かわからない。でも。

「進もう。」

その時パッと色が消えて、空も地面も木もすべてが白くぬり絵のようになってしまった。

「え？何？どういう事？」

私はパニックになり目をパチクリさせていると、真っ白な地面に足あとがポーッと浮かび上がってきた。

「うわっっ！！」

びっくりして私はしりもちをついてしまった。よくよく足あとを見ると『こっちだよ』と小さな文字が浮かび上がっている。私は、おそろおそろその足あとをたどって行った。すると、

「ここ、初めてこの山に来た時、迷子になった場所だ。その時、男の子に助けてもらったんだっけ。」

それ以来その男の子と私は、毎日一緒に遊んだんだ。その子が内緒にしてほしいと言ったから、私はその子と秘密の友達になったのだ。しかし顔も名前も全然思い出せない。考えていると、真っ白だった景色に青色だけパッとついた。青い空に青い花、青い屋根の山小屋。

「あっあの山小屋。」

見覚えのある山小屋に、急いで向かった。

「山の中で見つけたアケビや木イチゴを、ここで二人でこっそり食べたんだ。」

小屋に入るとまたちがう色がついた。今度は赤、黄色、むらさき。カラフルな色だ。足もとに一つの赤いビー玉が転がっているのが目に入った。

「ビー玉…。たしか…。かくしたっけ？」

私は記憶を探った。

「あの場所だ。」

走って向かったのは、どうくつ。このどうくつの中に宝物のビー玉をかくしたはず。

「やっぱりあった。」

色とりどりのきれいなビー玉たちを見つけた。どうくつの上は丘になっていて、夏祭りの時花火がよく見える、二人だけの秘密の場所だった。毎年花火を見ながら、二人でいろいろなことを話したんだ。小六の夏『来年は中学でいそがしくなるから、ここには来られなくなる』と話した時、私達は『タイムカプセルをうめよう』と決めたっけ。

「タイムカプセル…。」

あっ！また色がついた。緑と茶色。山の中が一気に息を吹き返した。辺りを見わたすと、ひときわ緑のこい立派な木が立っているのに気づいた。

「あの木だ。あの木の下にうめたんだ。」

六年前？もう無いかもしれない。私は期待と不安でドキドキしていた。汗だくになりながら木の根元をほると、小さなカンカンが見えてきた。

「これだ。あったよ！」

私はジャンプして喜んだ。カンを開けると、

「手紙と花火を閉じ込めたような特別なビー玉が一つ、あと

切符？おもいで駅行き？こんな駅あったっけ？」

顔を上げると目の前に、駅が現れた。

「切符はい見します。」

駅員さんが声をかけてきた。私はカンの中の切符を見せた。

「おもいで駅行きですね。2番線へどうぞ。」

私はホームで電車を待った。しばらくすると電車がやってきた。ドアが開いて中に入ると、たくさんの人達が乗っている。みんな何か、考えこんでいる様に見える。私は車内で手紙を読んだ。

「六年後、また一緒に見よう。約束だよ。」

と書いてあった。

「一緒に…何を？」

私も考え込んだ。

「次はおもいで駅、おもいで駅。」

「ここで降りるのか…。」

駅のホームに降りると、駅員さんがやって来て、

「お忘れ物ですよ。」

私はふり返る。すると、駅員さんが私のおでこにふれた。

そのしゅん間、頭の中に思い出が一気にかげめぐった。

「一緒に見るのは花火だ！夏祭りの花火。あの子は葉だ！」とさげんだ。ハッとして周りを見るときとの山の入口に立っていた。私は思い出せたうれしさでいっぱいだった。

夏祭りの夜、私はあの丘へと向かう。

「葉はどんなふうになってるかな？何話そう。」

丘につくと人かげが見えて

「葉ー！！」

私が呼ぶと、その子はふり返り笑って

「風香！待ってたよ！」

と言った。

「ここに座ろっか。」

私と葉は石に座った。

「久しぶりだね。風香にまた会えてよかった。来てくれてありがとう。」

ヒュ〜〜ド〜ン

「花火はじまったね。私も会えてうれしい。」

「今年で最後なんだ。」

「えっどういう事？」

「ぼくに会えるのは、子供のうちだけ。風香はもうすぐ大人だよ。」

「…。」

「風香は、ぼくの初めての友達なんだ。毎年夏が楽しみだった。風香が来る夏が。ありがとう。ずっと忘れないでね。」

花火が終わると葉は消えてしまった。

「葉！待って、待ってよ！まだ話したいの！！」

『またね』葉の声が頭にひびいた。

それから毎年この山に来て葉を探すけど会えない。でも風の音や光のゆらめきで葉を感じる気がする。そして私は写真家になって山の写真をとり続けているのだ。葉の『またね』を信じて、また会えますようにと。

秋の特別企画 「ハロウィンハウスへの道 ～合言葉を完成させよう～」

「すごい！大きな遊園地みたい！！」児童会館のホールに出現した大きなハロウィンハウスに圧倒された子どもたちから感嘆の声が上がります。10月23日(土)から31日(日)まで開催した本企画はお陰様で連日大盛況。お題にチャレンジする真剣な表情、合言葉のスタンプを丁寧に慎重にカードへ押し姿、何よりもハロウィンハウスで溢れんばかりの笑顔をたくさん見せてくれた子どもたち、そのひとつひとつに立ち会えたことは私たちにとっても大きな喜びと励みになりました。

さて、イタズラ好きの魔法使いはハロウィンの国へと無事に帰ったようですが、魔法使いと「と・も・だ・ち」になってくれたみなさん、本当にありがとうございました。

そして、またこれからも児童会館へ遊びに来てくださいね♪



パソコンプログラミング体験 「にこっとちゃんゲームを つくろう！」のご報告

11月7日(日)に「パソコンプログラミング体験『にこっとちゃんゲームをつくろう!』」を開催しました。ブロックをつなげるだけでプログラミングができるScratch(スクラッチ)を使って、当館のキャラクター「にこっとちゃん」が主役になるオリジナルゲームを制作しました。当日は、群馬県内で様々なプログラミングの事業を行っているサンダーバード株式会社の方々と、群馬大学の学生にお越しいただき、丁寧に教えていただきました。

7名の参加者からは「プログラムの組み方が分かった」「またこのようなイベントに参加したい」等、素敵なコメントをいただくことができました。

参加者が制作したゲームは、児童会館のScratchのページからあそぶことができます(PC推奨)。様々な作品がアップされていますので、ぜひご覧ください！

こちらからご覧いただけます

<https://scratch.mit.edu/users/nicottochan/>

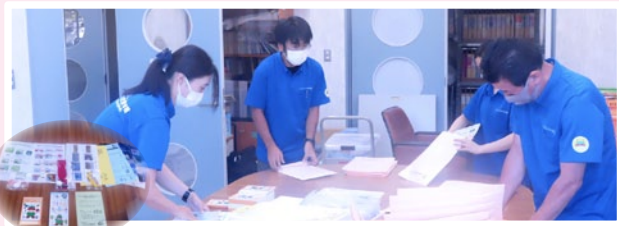


緊急企画! おうちであそぼう! プレゼント企画のご報告

8月20日から、群馬県に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されたことにより、児童会館は9月30日まで臨時休館となりました。夏休み中の子ども達に楽しい思い出をたくさん作ってもらおうと、数カ月前から色々なイベントを準備していたのですが、それが叶わず、職員の気持ちも落ち込みました。

それでも何かやれることはある!と皆で考え、おうち時間を過ごす子ども達に向けて、第1弾として当館クラフトルームの工作レシピ集・工作キット・にこっとちゃん自由帳のセットを、第2弾として児童会館オリジナル工作キット3種類とにこっとちゃん自由帳をセットにしたプレゼント企画を行いました。

どれくらい応募があるのかドキドキしながら受付を始めるとすぐに定員になり、反響の大きさに職員一同驚きました。応募された方からは、「外出自粛が続く中、このような企画はありがたいです」「コロナが落ち着いたら遊びに行きます!」等のお声をたくさんいただき、とても励みになりました。みなさん、たくさんのご応募ありがとうございました!!



群馬県児童館連絡協議会より ～JA共済連群馬様より 今年も寄付金をいただきました～

平成28年度より6年間継続し、JA共済連群馬様より群馬県児童館連絡協議会の会員65館へ、地域貢献活動の一環として図書購入費用(各5万円)の寄付金をいただいています。

デジタル化が進む現代社会ですが、やはり子ども達にとっての心の栄養として、絵本や児童書はかけがえのないものです。いただいた寄付のおかげで、各児童館とも沢山の優良図書の購入ができ、子ども達の情操教育の一環として、より充実させることができました。

多大なる温かいご支援、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



にこっと通信デジタルライブラリーはこちら

開館当初からの「ニュース」や「通信」のバックナンバーがご覧いただけます。

